

さいたま市議団ニュース

日本共産党

No.1020
2024.6.9

発行

日本共産党さいたま市議会議員団
TEL 048-829-1811 FAX 048-833-8165
ご意見・ご要望はこちらにお寄せください

松村 としお	とば めぐみ
久保 みき	たけこし 連
金子 あきよ	池田 めぐみ



市民の声をいかした市庁舎跡地へ

党市議団が要望書を提出

5月27日、党市議団は清水勇人市長宛に「現市庁舎の跡地利活用についての要望書」を提出。佐野篤資都市経営戦略本部長が対応しました。2030年にさいたま市庁舎が現在地（浦和区常盤）から、さいたま新都心に移転することを受け、党市議団では「どうする？市庁舎跡地の利用」というアンケートを実施し、広く市民の声を集めました。その結果、1位「防災公園」101件、2位「子どもの遊び場」69件、3位「美術館や博物館などの文化施設」63件、4位「子育て関連施設」50件、5位「病院」48件、6位「図書館」45件、7位「プールやジムなどのスポーツ施設」35件、8位「大学などの学校」17件、9位「商業施設」13件、10位「その他」22件となりました。結果をまとめた池田めぐみ市議は、「回答には市民の想いがていねいに書かれていた」と話し、要望書とともにアンケートの集計も手渡ししました。

さいたま市のまちづくりについては、市民の声よりも先に、企業へのサウンディング（自治体が民間企業に市有地の活用方法について聞いたり提案したりすること）などを優先させ、住



<要望項目>

- さいたま市庁舎が2030年に移転し、現庁舎跡地の利活用計画が2025年度に策定予定であることを周知し、広く市民の声を聴取すること
- その利活用については、防災公園をはじめ、どの年代の方も集えるような場所になるよう、地域住民や利用者の声を第一に決定すること

民や利用者の声が後回しになる傾向があります。党市議団は「防災公園」の設置を求める声が多かったことを受けて墨田区の錦糸公園を視察しました。ここは「防災機能」と「子どもの遊び場」「体育館」などを併せ持ち、2011年の再整備の際には最初に地域住民の声を聞き、要望をまとめたうえで体育館などを改修していったプロセスがあり、災害時には「福祉避難所」として活用されます。

さいたま市庁舎移転後の跡地利用については2025年度に利活用計画（骨子）を策定予定ですが、あらためて、市民に広く周知し、市民の

6月議会が始まります

6月議会は6月5日（水）から6月28日（金）まで開催されます。6月10日から12日まで一般質問がおこなわれ、党市議団から金子あきよ、とばめぐみ両市議が登壇します。質問日時が決まったら市議団のホームページでお知らせします。ぜひ傍聴にお越しください。インターネット中継でも見られます。



金子あきよ市議



とばめぐみ市議

請願 公立高齢介護施設の存続検討求める

党市議団は「グリーンヒルうらわ」（緑区）の存続を求める『「きんもくせい・ぎんもくせい」を守る有志の会』が、廃止の結論を早急に出さないよう求める請願の紹介会派となりました。

請願では「利用者、家族そして地元のみなさんの声を十分に聞くことなく事態が進行している」「今ではなくてはならない地元の施設」であることを強調し、施設の改修工事を

含め、「存続のための検討が十分に行われないうままでは納得できません」とうたえています。

昨年11月のさいたま市都市経営戦略会議で廃止の方向性が出され、今年2月に議会への報告と利用者への説明、そして6月議会で廃止条例を出すのは性急に過ぎると利用者・市民が感じるのは当然です。党市議団は請願採択に力を尽くします。

7件の意見書(案)を提出

党市議団として7件の意見書(案)を提出しました。全会派が一致すれば、国に送致されます。

- ・地域公共交通の充実・発展のための支援の拡充を求める意見書(案)
- ・国民健康保険税の引き下げのために国負担の大幅増を求める意見書(案)
- ・持続可能な建設業の実現のための意見書(案)
- ・障害福祉サービス報酬改定にあたって事業所への支援を求める意見書(案)
- ・積極的性感染症対策と包括的性教育の推進を求める意見書(案)
- ・動物の愛護及び管理に関する法律の改正にむけた要望書(案)
- ・介護報酬改定にあたって訪問介護事業所への支援を求める意見書(案)

声を把握し、市民の声を反映する形で策定することを強く要望しました。佐野本部長は「来年

度の利活用計画の策定に向けて市民の声を聞くことを重視したい」と話しました。

男女共同参画を前へ

「らら京都」と「京あんしん子ども館」を視察

さいたま市議会の女性活躍推進議員連盟では、男女共同参画の先進事例を学ぶため、横浜市、仙台市に続き、京都府の男女共同参画センター「らら京都」を視察しました。党市議団からとばめぐみ、池田めぐみ両市議が参加しました。



京（みやこ）あんしん子ども館の「子どもの視野体験コーナー」で、子どもの目線だと車をどのタイミングで認識するかを体験するとば市議

京都のとりくみでは、「女性の悩み相談」事業に力を入れているほか、女性の起業支援のための全5回で開催する創業スクールが大人気。スクールだけで終わらず、起業後のスキルアップをサポートする交流サロンや、チャレンジオフィスの提供、地域で活躍する人を紹介する

ラジオ番組「“京” do 参画」など、フォローアップが充実しているのが特徴です。また、防災に女性の視点を取り入れ、災害時の女性相談サ

ポーター養成講座を複数回実施しているほか、「きょうとみんなの防災カード」を男女共同参画の視点で作成し、今回の視察でも、ワークショップというかたちで災害の備えや避難所について議員同士で話し合いました。

「京（みやこ）あんしん子ども館」では、長村敏生センター長と懇談しました。自身の小児科医としての経験から、子どもの大きな死亡原因のひとつ「不慮の事故死」を減らすため、京都第二赤十字病院と京都市が連携し「子ども保健医療相談・事故防止センター」を創設したとのこと。また、館内の子どもセーフティハウスを看護師の説明を受けながら回ることで、子どもにとっての家の中の危険をリアルに体験することができました。「さいたま市でもこのようなとりくみを実現したい」と、とば、池田の両市議は話しました。

戦争やめよ 国際法守れ 請願が不採択に

2月議会に提出された「国際法遵守の呼びかけに関する請願」の閉会中審査が5月24日に総合政策委員会でおこなわれました。党市議団は紹介議員となりました。



立憲民主党・無所属の会さいたま市議団が不採択の立場で「本市も九都県市首脳による緊急人道アピールを発出するなど意見表明しており、単独でおこなうより注目度も高く請願者の意図にも合致することから、人道支援の活動に努め、国際社会全体でのより一層の努力を注視していきたいと考え、本請願には不採択」と討論。一方で、とばめぐみ市議が「ガザの事態を憂慮し、即時停戦と人道支援を訴える中東研究者のアピールは、国連総会決議、安全保障理事会決議に合致する。請願は本議会に国際法の遵守と平和の呼びかけをおこなうことを求めており、願意は妥当」と主張。とばめぐみと池田めぐみの両市議、および無所属市議の3人が採択を求めましたが、賛成少数で不採択となりました。

学童市連協定期総会 学童保育を守れ

5月26日、さいたま市学童保育連絡協議会の定期総会が開催され、党市議団から久保みき市議が参加しました。

さいたま市は、4月から「放課後子ども居場所事業」をモデル校4校で開始しましたが、これまで子どもの豊かな放課後のために力を尽くしてきた民間学童クラブへの十分な説明はありませんでした。

総会では本市の学童の現状報告と、居場所事業導入の経緯や概要の説明がありました。いちばんの問題は、職員の配置基準の後退です。基準が後退すると子どもに寄り添った支援はできず、監視的、管理的なか



定期総会であいさつする久保市議

かわりになります。今後は民設学童クラブが校内施設を使用しているところでも居場所事業の検討がされることから、民設学童クラブの取り潰しがおこなわれる心配があります。市連協からは、2つの事業が選択肢となるような保育料の設定、児童数によらない安定的な運営が可能となる支援という要望が出されました。久保市議は「しっかりと受け止めて、『学童保育をなくすな』の声をあげていきたい」と話しました。

6月議会報告会

参加費無料・どなたでもご参加ください

7/13 ⑤ 14:00 ~ 16:00
大宮ソニックシティ
604号室 (定員78名)

あなたの身近な市議会議員です



緑区 松村としお



桜区 久保みき



南区 金子あきよ



見沼区 とばめぐみ



中央区 たけこし連



浦和区 池田めぐみ